

坂町文化財

～文化財展示室のQ&Aコーナー～

Q. 写真の紙は、昔から、家のある箇所で再利用されていました。どこで使用されていたのでしょうか？



古くから、紙は貴重な物資であり、「宿紙」といって一度使用した紙をすき返してリサイクルしていました。

写真の紙は、楮紙と呼ばれ、強靱ですが軽くてしなやかな紙質の和紙です。

文化財展示室のアンケートBOXについて

文化財展示室内には、来室された方用にアンケートBOXを設置しています。この度、展示物に関する質問が寄せられましたのでご紹介します。

Q. 展示室の甲冑は復元ですか？それとも昔からあるのですか？教えてください。

A. 展示室には、甲冑が2点ありますが、いずれも町内の方にそれぞれ寄贈していただいたものです。復元したものではありません。

この他にも、多数ご感想をいただいています。アンケートへのご記入ありがとうございました。

A. こたえは、襖ふすまです。古い襖を破いてみると、毛筆で文字が書かれた古い和紙が貼ってあることがあります。家の襖を作る際には、この和紙の特質を生かし、ふすまの下張りとして再利用されます。おもに商家の大福帳（帳簿）や役所の書類などが使用されており、時として歴史上大切な資料が眠っていることもあるといいます。写真の下側は、山論（山争い）に対する取り調べのための関係者の出頭命令が記されたもので当時の姿を物語る大切な古文書と言えます。（文化財保護委員）

あたたかい
心のともしび



つぎの方々から、社会福祉事業資金としてご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。
(2月受領分・敬称略)

◎香典返し寄附者

榎尾耿之介（坂西四丁目）
中屋敷忠彦（小屋浦二丁目）

よろこび

おめでとございます

2月届出分 敬称略



福井 愛樹（坂東一丁目）
松林 拓冬（坂東三丁目）
榎崎 りつ（坂東三丁目）
益 大晴（北新地二丁目）
木崎 央都（横浜東一丁目）
月山 未希（横浜中央三丁目）
寛 拓磨（植田三丁目）
平山 蒼空（植田三丁目）
奥下 連栴（小屋浦一丁目）
奥下 翔栴（小屋浦一丁目）

かなしみ

おくりやみ申し上げます

2月届出分 敬称略

西原 正隆（79）（坂東一丁目）
中屋敷身知子（97）（小屋浦二丁目）
山本 和芳（94）（小屋浦三丁目）
高下イトヨ（94）（小屋浦四丁目）

このコーナーに掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

とき通信を

お休みします

新型コロナウイルス感染予防のため、行事を自粛しており、今月号の『とき通信』は休刊します。



◎問合せ
社会福祉協議会
☎(885) 2611

4月の休日当番医

診療時間 9時～17時30分 休診時間 13時～14時

	坂町・熊野町	府中町	海田町	広島市安芸区
4日(日)	だて耳鼻咽喉科クリニック ☎(884) 4133	瀬戸ハイム内科 ☎(285) 0816	南海田病院(外科) ☎(823) 8855	金沢内科・循環器科 ☎(889) 5501
11日(日)	梶山医院(内科) ☎(854) 2771	鈴川内科クリニック ☎(286) 0050	みぞて眼科 ☎(821) 2601	川上内科クリニック ☎(893) 6886
18日(日)	河原クリニック(内科・呼吸器科) ☎(820) 1711	産科・婦人科 藤東クリニック ☎(284) 2410	しらね泌尿器科クリニック ☎(821) 1900	広島ペイクリニック(内科) ☎(885) 8280
25日(日)	豊田レディースクリニック(女性内科・産婦人科) ☎(855) 1913	坂下外科医院(外科・泌尿器科・整形外科・皮膚科) ☎(282) 2228	こころのクリニックひまわり(心療内科・精神科) ☎(847) 3111	安芸市民病院(内科・外科・小児科) ☎(827) 0121
29日(木)		益田眼科医院 ☎(282) 5058	おおや耳鼻咽喉科 ☎(821) 3387	小野耳鼻咽喉科 ☎(888) 2113

受診を迷うときは、**#8000こどもの救急電話相談**（毎日、19時から翌朝8時まで）、**#7119成人の救急電話相談**（24時間365日）もご利用ください。

今月の納税

口座振替日 4月26日(月)

口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。

4月30日(金)

固定資産税……………第1期
軽自動車税(種別割)……………全期分
介護保険料(1号)……………第1期分

坂町の人口と世帯

(3月1日現在)

男：6,186人 (前月比+7)
女：6,741人 (前月比-11)
計：12,927人 (前月比-4)
世帯数：5,749世帯 (前月比+5)

坂町史

親から子へ、
子から孫へ
受け継ぐ

第85回 鳥のいる風景 フクロウの繁殖



じっと動かず見守る親フクロウ。
平成19年5月14日撮影



巣立ち直後のフクロウの若鳥。
平成19年5月14日撮影

春先に見られる鳥たちの移動の最中、総頭川の谷の一面で、幸運にもフクロウたちに遭遇することができました。

平成19年フクロウの繁殖記録

- 4月14日 抱卵する親を発見。
- 4月16日 この日にふ化したと思われる。
- 4月30日 親は、昼間は巣の外に出て近くの林の中にいた。夜間については不明。これ以後、親は昼間巣の外に出たままとなった。
- 5月14日 朝9時30分ごろ、1羽のヒナが巣を後にした。その時親は、離れた場所において、ヒナが木に爪をかけているらしいパリパリという音の方に向き直り、そちらを見守るだけであった。

坂町の谷間に見られる林は、瀬戸内海沿いのアカマツを主にした豊かとはいえない林ですが、フクロウの繁殖を可能にした環境であるといえるでしょう。

この総頭川沿いの谷間は、春と秋には渡り鳥たちの格好の休息・栄養補給の基地となっており、この一見殺風景とも取られかねない雑然とした林、草地、放置された田や畑が、実は、かけがえのない環境を作りだしています。普通の鳥が普通にいる風景が広がるまち坂町。時には、自然に思いをさせてみてはいかがでしょうか。

【『自然編』より】